

俳句という劇場

須藤 徹

新世紀俳句の遠近法

豊穡な俳句装置へ

五七五と季語は俳句の常道とされるが、
じつはもっと多様で自由なものなのではないか。
古今の先駆的な俳人の作品を解説し、
新世紀の豊穡な俳句表現はいかにあるべきかを問う、
従来の俳句観の変更を迫る力作評論集。

深夜叢書社 定価2800円＋税